

## 次なる一手 その1

2月になりました。今年度も残すところあと60日です。

大きな次なる一手は、

### 1 教育課程の改訂

新一学年から、理科の選択を、全員に対して、「物理基礎」から始めます。

「物理」を学ぶことにより、自然科学の理解において、近代を構成してきた科学の在り方の基本の運動方程式や波の動き、熱エネルギーの在り方や電気電子の動き等への理解を図りながら、理科の原点をものにしていくためと、3年時においてもっとも取りつきにくいからということ敬遠されがちながら理系では必須の物理の内容を早めに自分に身近なものにするためです。

### 2 進路への対応から、模擬試験を吟味。到達度テストができるソフトの導入

本校の特徴として、一人一人にタブレットが渡ります。模擬試験を厳選しその費用を用いて、タブレットを利用した、生徒一人一人の到達度を早めに把握し、自ら進めることのできるカリキュラムの配信を可能にするソフトを導入する予定です。

### 3 令和4年度新教育課程導入への対応

本校では、令和4年度入学制から大きな教育課程の改訂を行います。また、それに合わせて、単位制を導入すること、コース制を導入することを検討していきます。

今後、生徒数が減少しても、カリキュラムの講座数を維持し、生徒の大學志望に応える教育内容を担保するための動きであります。

これらの検討は、令和2年度中に大きな枠を決定し、令和3年度当初には公開することで、令和4年度入試への案内を明確にしていく所存です。

### 4 令和6年度末の大きな大学入試改革への対応

ご存知のように、英語4技能試験が令和6年度末から導入されます。3年間を見通した指導を確立し、新制度に対応できる内容にしていきます。

また、記述式試験の対応や、AO入試の対応については、暫時情報を共有していきますので、よろしくお願いいたします。

このように、様々な学校改革を先手で進めつつ、指導力のある教員の確保と、学校行事の活性化及び部活動の活性化を図りながら、学校全体の学力と総合力を高めてまいりたいと予定しています。いわきの子供たちの学力と進学実績を担保しながら、磐城高校の力を保持してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

